

「北九州市子ども読書プラン（第5次北九州市子ども読書活動推進計画）」（素案）について

1 計画の進捗状況

令和7年5月8日教育委員会会議で報告のとおり、現行の「北九州市子ども読書プラン（第4次北九州市子ども読書活動推進計画）」《計画期間：令和3年度～令和7年度》が今年度末で終了することから、次期「北九州市子ども読書プラン（第5次北九州市子ども読書活動推進計画）」（以下、「第5次子ども読書プラン」という。）の策定に着手し、令和7年度第1回及び第2回「北九州市子ども読書活動推進会議」で議論を重ね、このたび素案を取りまとめたもの。

2 第5次子ども読書プランの特色

現行プランの「目指す姿（ビジョン）」を引き継ぎ、「家庭」「学校」「市立図書館」「地域」ごとに、「学ぶ・やすらぐ・楽しむ」という「3つの方向性（ミッション）」と、「乳幼児期・小学生・中高生」という「発達段階ごとの取組みの方針」を軸にした主要施策（アクション）を定めた。それぞれの施策は「家庭」「学校」「市立図書館」「地域」で単独に進めるものではなく、相互に関連し合いながら取組みを進行していく。

【資料1】第5次北九州市子ども読書プラン（素案）概要版

【資料2】第5次北九州市子ども読書プラン（素案）冊子

3 スケジュール

第5次子ども読書プラン（素案）を常任委員会へ報告後、素案に対するパブリックコメントを経て、令和8年2月を目途に成案を取りまとめる予定である。

《パブリックコメント実施期間（予定） 令和7年10月初旬から20日間程度》

5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月～3月
R7.5.21 第1回子ども読書活動推進会議 たたき台提示	たたき台修正 素案検討・作成	R7.8月8日 第2回子ども読書活動推進会議 素案提示・審議	素案修正		パブリックコメント 実施→集計分析	パブコメ反映 /最終案作成	R8.1月上旬 第3回子ども読書活動推進会議 パブコメ結果、 最終案提示	新プラン 成案	
プラン策定について報告 R7.5.8 教育委員会会議 R7.5.15 常任委員会		素案協議 R7.8月21日 教育委員会会議	素案報告 R7.9月 常任委員会				パブコメ結果、 最終案報告 R8.1月下旬 教育委員会会議	成案議決 R8.2～3月 教育委員会会議	最終案報告 R8.2月 常任委員会

第5次 北九州市子ども読書プラン ～市民全体で取り組む子どもの読書～ 【概要版】

計画期間：令和8年度～令和10年度

第4次子ども読書プランの主な成果

- ・絵本バック配布《配布率99%》→ 家読の充実
- ・本市独自に子ども読書の日の設定→ 読書に取り組む機運の醸成
- ・子ども司書・ジュニアサポーターの養成→ コアファンの増加
- ・子ども電子図書館オープン（R3、4）→ 一人一台端末の有効活用
どこでも読書できる環境の確立など

子どもの読書活動の主な課題

- ・【読書量】児童生徒の4割が、ほとんど本を読まない（10分以下）
- ・【図書館利用】利用頻度が低く、活用用途に限られている
→ ほとんど利用しないが7割以上 中高生は学習室の利用に偏る
- ・【本の活用】調べたり学んだりするための活用が少ない
- ・【ニーズの多様化】居場所づくり 読書バリアフリーなど
→ 多様な子どもたちへの読書機会の確保 安心してくつろげる場

子どもの読書活動を取り巻く環境の変化

- ・読書バリアフリー法の施行
- ・令和の日本型学校教育の推進 ・GIGAスクールの推進
- ・こどもまんが社会の実現
- ・北九州市教育大綱、「北九州市こどもまんが教育プラン」
「北九州市立図書館基本計画」等に基づいた子どもの読書活動の一層の推進

読書の意義

- 子どもの、新しいことを知りたい、理解したいという「知的好奇心」を育むもの
- 読解力、表現力、思考力、想像力、問題解決力など多くの「生きる力」を身に付けることに役に立つもの

目指す姿

すべての子どもが、日々の生活の中でずすんで本を手にとって読み、子ども同士や家族などと楽しく語り合う日常

- 本との出会いを楽しみにする子ども
- 本から学び、知ることの喜びを感じる子ども
- 読書の楽しさ、大切さを知り、発信でき、生涯に渡って読書に親しもうとする子ども

3つの方向性

学ぶ

<本で学ぶ>

やすらぐ

<本を手にくつろぐ>

楽しむ

<読書を楽しもう>

取組の方針

各発達段階における
重点方針

乳幼児期
小学生
中高生

- ・早期に本に親しむ習慣がつくよう、家庭や関係機関相互の連携を深める
- ・絵本から児童書への円滑な移行をすすめる
- ・読書の幅を広げ、日常的に読書に親しめるようにする
- ・多様な目的やニーズに対応し、主体的に図書館や本を活用して学びを広げることができるようにする

成果指標

《成果指標》 乳幼児期
市立図書館での読み聞かせやおはなし会の開催回数
及び参加者数

《成果指標》 小学生
月に1冊も本を読まない小学生の割合

《成果指標》 中高生
月に1冊も本を読まない中学生・高校生の割合
市立図書館を全く利用しない中学生・高校生の割合

主要施策

- ① はじめての絵本事業の推進
 - ・絵本の配付
 - ・講座、交流促進
 - ・啓発活動
- ② 家読（ファミリー読書）の推進
 - ・読書カード
 - ・電子図書館
 - ・啓発活動
- ③ 親子で読書に親しむ機会の提供
 - ・イベントの充実
 - ・読み聞かせの推進
- ④ 多様な子どもたちの読書機会の確保のための支援
 - ・電子図書館
 - ・貸出しの充実（学校等貸出し図書セットの利活用）
 - ・情報提供（コソ紹介等）

家庭における
読書活動の推進

学ぶ
知識を広げ、心を豊かにし、自分自身の成長を促進

ビジョン/目指す姿

すべての子どもが、日々の生活の中でずすんで本を手にとって読み、子ども同士や家族などと楽しく語り合う日常

ミッション/方向性

やすらぐ
好きな本に触れながら、心安らぐひとときを提供

楽しむ
読書によるつながり「読書コミュニティ」を通して楽しく豊かな生活を創出

地域（子育て関連施設、市民センターなど）
における読書活動の推進

アクション/主要施策

- ① 学校図書館のより効果的な利活用の促進
 - ・学校図書館の体制強化、図書館資料及びレファレンスサービス機能の充実
- ② 学校、学校図書館と市立図書館との連携強化
 - ・市立図書館の見学
 - ・学校の取組みの掲示
 - ・読み聞かせボランティアの派遣
 - ・学校等貸出図書セットの利活用
- ③ 学校ごと図書館の推進
 - ・本が身近にある環境の充実
 - ・授業お役立ちブックリストの活用
 - ・電子図書館の活用
 - ・10分間読書の推進
- ④ 読書を通じた交流の実施
 - ・ビブリオバトル、ブックトーク等の実施

学校における
読書活動の推進

市立図書館における
読書活動の推進

- ① 多様な子どもたちへの読書機会の確保
 - ・読書バリアフリー、電子図書、外国籍対応等
- ② 主体的・探究的な学びへの支援
 - ・講座の開設
 - ・学習室利用促進
 - ・情報提供
- ③ 安心して過ごせる居場所づくりの創出
 - ・くつろげる、交流する空間の設置
- ④ 楽しむための各種取組の創意工夫
 - ・読書の日イベント充実
 - ・その他イベントの開催
 - ・地域クラブ（図書クラブ）の設立
- ⑤ 読書ボランティアなどの育成・支援
 - ・地区図書館との連携強化
 - ・ボランティアバンクの活用
- ⑥ 主体的に読書活動に関わる子どもの育成・支援
 - ・子ども司書養成、ジュニアサポーター

- ① 幼稚園・保育所等における読書活動の支援
 - ・読み聞かせ、貸出しの推進、
 - ・研修の開催、情報提供
- ② 子育て関連施設（児童館、放課後児童クラブ、子ども食堂等）、市民センター等における読書活動の支援
 - ・読み聞かせ、貸出しの推進、啓発活動
 - ・イベント協力 等
- ③ 文化施設等との相互協力
- ④ 地元団体・地元企業などとの協力
 - ・大学、商業施設とのイベント協力等
- ⑤ コミュニティ・スクールと学校図書館等の連携
 - ・地域による学校図書館の読書活動支援